資料1

共用試験委員会　平成24年4月20日版

図1. 獣医学共用試験委員会組織体制（案）

（H24.4.20）

獣医学共用試験委員会
委員長：高井（北里大）
副委員長：杉山（岐阜大）

◎：責任者
△：副責任者

獣医学共用試験大学代表者会議[1]　議長：尾崎（東大）
帯畜大：古林　佐々木　北大：片倉　橋本　酪農大：山下　遠藤
岩手大：中牟田　山岸　農工大：竹原　渡辺　北里大：髙井　岡野　吉川
岐阜大：北川　鈴木　杉山　鳥取大：澁谷　村瀬　日獣大：新井　鷲巣
山口大：佐藤　田浦　鹿児島大：窪田　川崎　麻布大：浅井　藤井
東大：尾崎　望月　宮崎大：片本　保田　日大：鎌田　上地
大阪府大：小川　笹井

vetCBT小委員会[2]
◎ 杉山（岐阜大）
△稲葉（北大）△杉浦（東大）
５分野の責任者

vetCBT問題フォーマット・マニュアル小委員会[3]
◎ 浅井（麻布大）
△ 遠藤（酪農大）
各大学2名教員（IT環境整備）

vetOSCE準備小委員会[4]
◎ 北川（岐阜大）
△ 鷲巣（日獣大）
山岸、上地、高橋、藤井

トライアル実施小委員会[5]
◎ 高井（北里大）
△ 山下（酪農大）
△望月（東大）遠藤、鷲巣
IT環境整備教員

広報小委員会[6]
◎ 澁谷（鳥取大）
△ 遠藤（酪農大）
△ 堀（東大）
△ 北村（鳥取大）

H28～

共用試験実施委員会

vetCBT問題内容検討部会（102～153名）[7]

基礎・導入分野	病態分野	応用分野	臨床分野A*	臨床分野B*
◎池田（宮崎大）	◎片倉（北大）	◎杉山（岐阜大）	◎稲葉（北大）	◎望月（東大）
△川崎（鹿児島大）	△代田（麻布大）	△丸山（日大）	△佐藤（岩手大）	△猪熊（帯広大）
△中島（大阪府大）	△村瀬（鳥取大）	△樋口（酪農大）	△亘（日大）	△田中（農工大）
△鈴木（日獣大）			△奥田（山口大）	△岡野（北里大）
13科目	7科目	8科目	11科目	12科目
26～39名	14～21名	16～24名	22～33名	24～36名

＊臨床分野A：内科学総論、臨床病理学、臨床薬理学、呼吸循環器病学、消化器病学、泌尿生殖内分泌代謝病学、血液免疫病学、皮膚病学、臨床行動学、画像診断学

臨床分野B：臨床栄養学、神経病学、外科学総論、手術学総論、麻酔学、軟部組織外科学、運臨床腫瘍学、眼科学、産業動物臨床学、馬臨床学、臨床繁殖学

1) 共用試験の実施・運営に関する事項（各種規程等）を審議する。各大学との連絡調
2) CBT全般に関わる事項を検討する
3) CBT問題マニュアル作成とIT環境整備を行う。
4) OSCEの内容等を検討し、実施準備を行う。
5) トライアル試験の実施準備を行う。将来的に共用試験実施委員会に移行する。
6) HPの整備等、広報活動を行う。
7) CBT小委員会のもと、問題の内容を検討し、問題の検討・精選作業を行う。